さくら

SAKURA

学校法人ノースアジア大学 広報

NORTH ASIA UNIVERSITY

2013.8 August No. 235

CONTENTS

02 / 学園創立60周年記念式典
03 / 内館氏講演会、水野氏講演会
ウインドオーケストラコンサート
04 / 平成24年度決算
05 / 平成25年度予算、明桜高校：女子サッカー部東北大会へ
06 / のびのび幼稚園：サッカー教室、英語教室
07 / さくら幼稚園：田植え、お散歩
08 / インフォメーション

学園創立60周年記念式典

学園のさらなる発展を誓う

60周年記念式典を挙行

本学園は、昭和28年に秋田県内初の私立の高等教育機関として「秋田短期大学」を開学し、時代と地域社会の要請に応えて変遷を遂げ、学園運営や教育研究体制のさまざまな改革を推進しています。

60周年を迎えた4月26日、秋田市内のホテルにおいて、記念式典および祝賀パーティーを挙行しました。

式典に先立って行われた記念講演会では、脚本家で本学総合研究センター客員教授の内館牧子氏が「社会人学生として感じた『学ぶということ』」をテーマに講演。現在大学は二極化しており、勉強する学生としない学生にはっきりと分かれると述べ、本学園の学生・生徒がしっかりと学び、活躍することに期待を寄せました。

式典では、はじめに小泉理事長が、これまでに学園に寄せられた支援への感謝の言葉を述べ「学生には新しい分野に勇気を持って果敢に挑戦してほしい。本学は地方の小さな学校だが、教職員が心をひとつにして全力で教育にあたります」と決意を語りました。

来賓祝辞では、下村博文文部科学大臣と大沼淳日本私立大学協会会長からの、お祝いの言葉と学園の発展への期待をこめたメッセージが読み上げられました。仙台フィルハーモニー管弦楽団による弦楽四重奏で、モーツァルトやビートルズの曲が演奏される和やかな雰囲気の中式典は閉会しました。

続いて行われた祝賀パーティーでは、読売新聞特別編集委員で本学客員教授の橋本五郎氏が「教育は、教える側の先生と教えられる側の生徒の関係が全て。このことを基本に据えてひたすら邁進してほしい」とあいさつしました。その後、学園紹介の映像が上映され、列席した関係者は、今後より一層連携・協力し、学園の発展を目指すことを誓いました。

死者のあの世での幸せを願う　シティカレッジ講演会

6月7日、40周年記念館において、本学教育諮問会議委員、総合研究センター客員教授で脚本家の内館牧子氏による講演会「死者とつながる習俗 その2」を開催しました。

このテーマは参加者の関心が高く、昨年度行った前回の講座同様、今回も定員を超える申し込みがありました。

内館氏は、相撲について学ぶため、東北大学の大学院で宗教学の研究をしていた頃から、生者が死者とつながる習俗について東北各地で現地調査を行っています。

前回の講演会では、豊富な現地調査の経験をもとに恐山のイタコについて紹介しました。

今回は、結婚前に死んだ者のために婚礼の風景を絵馬に描いて神社に奉納する、山形の「ムカサリ絵馬」などについて語りました。実際に神社に奉納された絵馬をプロジェクターで紹介し、その絵馬が表している内容や背景を説明。死者もあの世で幸せに生きていてほしいという生者の願いが表れている東北独特の習俗について紹介しました。

信念を持って行動し目標実現を　野球解説者水野雄仁氏の講演会を開催

4月22日、元読売ジャイアンツ投手で野球解説者の水野雄仁氏を講師にお招きし、40周年記念館で講演会を開催しました。

「私の野球人生」と題して、野球を始めたきっかけに始まり、野球解説者として現在に至るまでの思い出を語りました。小学校6年生で野球選手になりたいと思った時から、どうしたらなれるのか考え、中学校・高校と各年代で自分なりの目標を立てて実行してきたことや、池田高校時代は、蔦監督のことや目標にした先輩のことなど、厳しくも楽しかったエピソードを披露しました。

最後に、自分の目標を実現したいという強い気持ちと信念を持って行動に移すことが大切だと話し、講演を締めくくりました。質疑応答では次々と出される質問に答えて、現役時代の思い出や現在の野球選手についてユーモアを交えて率直に話し、会場はたびたび笑いに包まれました。

音楽で世界旅行　ウインドオーケストラコンサートを開催

6月1日、古田記念講堂で、ノースアジア大学吹奏楽部と明桜高校吹奏楽部による「ウインドオーケストラ」がコンサートを行いました。

第一部は、本学総合研究センター客員教授でテノール歌手の小林彰英氏とピアニストの腰塚賢二氏による声楽ステージです。幕開けでは、オペラ風にアレンジした「あわて床屋」で客席を沸かせ、腰塚氏のピアノソロやコンサート初披露の曲を織り交ぜながら、クラシック、ポップスなど、バラエティ豊かな選曲で演奏しました。

第二部は、ウインドオーケストラが、秋田吹奏楽団の佐藤正人氏の指揮で演奏しました。今年度の吹奏楽コンクールの課題曲「夢の明日に」を皮切りに、「はとポッポ」のメロディーを、さまざまな時代や国の曲調にアレンジしたパロディーで演奏し、佐藤氏が吹奏楽で使われる楽器を紹介しました。ウインドオーケストラのコンサートでおなじみのジャパニーズ・グラフィティでは、坂本九と美空ひばりのメドレーで盛り上がりました。

アンコールでは、小林氏と腰塚氏が登場し、「オーソレミオ」を演奏。続いてウインドオーケストラが吹奏楽に乗せて「花は咲く」を合唱しました。

平成24年度決算

平成24年度決算は、５月29日の理事会、評議員会において承認されました。

平成24年度において学園では、「教育の質の向上」、「学習意欲の喚起」、「学生・生徒の学習と生活支援の充実」を柱として各種の事業を継続的に行いました。

施設環境整備においては、教室、園舎の一部エアコン設置等の整備を行いました。

また、真理大学から３名の留学生、培材大学校から短期語学留学生として10名が来日、さらに培材大学校の総長ほか関係者が来学し、両大学の交流について話し合いが行われるなど活発な国際交流が行われました。大学からは、昨年度に引き続き今年度も海外姉妹校へ６名の学生が海外留学をしています。

そのほか、学生を企画主体とした海外旅行も４回目を迎え、学生のいろいろな企画のもとに３泊４日の日程で韓国旅行を実施しました。

さらに、教員、学生が一体となり、観光地調査研究や移動法律相談、模擬裁判、公開講座を実施し、参加者と学生との双方に大きな利益を得ることができました。学生のキャリア教育についても、キャリアセンターを中心に入学時から卒業後の進路を見据えた教育の支援体制の強化を進め、各種講座や対策試験のほか、学生が効果的に就職活動をできるよう環境整備も行いました。これらの事業については秋田県の「魅力アップ支援事業補助金」として採択され補助金が交付されています。

また、国家試験等センターでは、学生の志望に合わせた行政・警察、司法、刑事司法、国際ビジネス、観光、税務会計の各研究室整備により、学生の要望に応える環境が整えられました。また、各種試験の受験対策に配慮し、公務員として地域へ貢献できる人材育成へ力を入れました。

総合研究センターでは地域との交流や研究教育の中核機関として、市民向け公開講座＜シティカレッジ＞、＜ノースアジア大学文学賞＞も恒例となり、教育研究資源を広く市民に開放し、専門知識や広い視野を身につける教育のサービスを提供しています。

さらに、雪国民俗館では、今年度、企画展示を三回開催しました。展示企画展では、貯蔵されている中から貴重な文化遺産の一部を公表し、民俗学や民俗資料の情報発信の場として地域社会との連携を図りました。

高校では、授業の様子を動画で公開し、生徒、教職員の意識向上を図りました。国際交流においては、姉妹校である台湾の国立淡水高級商工職業学校と海外研修にて、文化交流を行いました。

幼稚園においては、明桜高校教員によるサッカー教室・英語教室が行われ、学校法人ならではの交流により、好評を得ております。また、食育にも力を入れた献立作り、手作り給食により、子供たちが楽しみながら食事ができる環境作りを行いました。

のびのび幼稚園併設の保育園についても、幼・保一体型施設として地域市民に子育て環境の利便性の充実がさらに期待されています。

〔平成24年度決算概要〕

収入については、帰属収入が3,061,947（千円）となり、基本金組入額を差し引いた消費収入合計額は、2,998,741（千円）となりました。

これに対して支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、減価償却等で2,488,935（千円）となり、509,806（千円）の収入超過となりました。翌年度繰越消費収入超過額は2,716,556（千円）となりました。

資金収支計算書

収入の部

（単位：千円）

科目	予算	決算	増(△)減
学生生徒等納付金収入	1,822,463	1,839,865	△ 17,402
手数料収入	40,865	43,872	△ 3,007
寄付金収入	92,600	95,704	△ 3,104
補助金収入	641,892	729,088	△ 87,196
資産運用収入	27,251	47,539	△ 20,288
資産売却収入	300,000	300,200	△ 200
事業収入	164,765	179,941	△ 15,176
雑収入	113,037	123,627	△ 10,590
前受金収入	258,080	350,002	△ 91,922
その他の収入	333,995	346,383	△ 12,388
資金収入調整勘定	△ 586,819	△ 625,036	38,217
前年度繰越支払収入	4,193,851	4,193,851	0
資金収入の部合計	**7,401,980**	**7,625,039**	**△ 223,059**

支出の部

（単位：千円）

科目	予算	決算	増(△)減
人件費支出	1,341,340	1,332,451	8,888
教育研究経費支出	486,414	482,724	3,689
管理経費支出	319,621	272,439	47,182
施設関係支出	72,500	38,090	34,410
設備関係支出	63,874	38,126	25,748
資産運用支出	451,000	451,000	0
その他の支出	406,615	406,612	3
〔予備費〕	10,000	0	10,000
資金支出調整勘定	△ 111,579	△ 188,480	76,901
次年度繰越支払資金	4,362,195	4,792,075	△ 429,880
資金支出の部合計	**7,401,980**	**7,625,039**	**△ 223,059**

＜千円未満切り捨て＞

消費収支計算書

（単位：千円）

科目	予算	決算	増(△)減
学生生徒等納付金	1,822,463	1,839,865	△ 17,402
手数料	40,865	43,872	△ 3,007
寄付金	93,100	97,814	△ 4,714
補助金	641,892	729,088	△ 87,196
資産運用収入	27,251	47,539	△ 20,288
資産売却差額	0	199	△ 199
事業収入	164,765	179,941	△ 15,176
雑収入	113,037	123,627	△ 10,590
帰属収入合計	2,903,373	3,061,947	△ 158,574
基本金組入額合計	△ 135,852	△ 63,206	△ 72,645
消費収入の部合計	**2,767,521**	**2,998,741**	**△ 231,220**

（単位：千円）

科目	予算	決算	増(△)減
人件費	1,353,540	1,317,306	36,233
教育研究経費	860,709	855,054	5,654
管理経費	343,331	296,047	47,284
資産処分差額	502	828	△ 326
徴収不能引当金繰入額	17,800	19,698	△ 1,898
〔予備費〕	0		0
消費支出の部合計	**2,575,882**	**2,488,935**	**86,947**
当年度消費収入超過額	191,639	509,806	
当年度消費支出超過額			
前年度繰越消費収入超過額	2,006,627	2,206,750	
翌年度繰越消費収入超過額	2,198,266	2,716,556	
翌年度繰越消費支出超過額			

＜千円未満切り捨て＞

貸借対照表

（単位：千円）

資産の部

科目	本年度末	前年度末	増(△)減
固定資産	23,213,108	23,401,979	△ 188,871
有形固定資産	11,292,374	11,619,343	△ 326,969
その他の固定資産	11,920,733	11,782,635	138,098
流動資産	5,113,739	4,422,841	690,898
資産の部合計	**28,326,847**	**27,824,820**	**502,026**

（単位：千円）

負債の部

科目	本年度末	前年度末	増(△)減
固定負債	93,854	108,999	△ 15,145
流動負債	658,910	714,750	△ 55,840
負債の部合計	752,764	823,749	△ 70,985
基本金の部			
第１号基本金	22,801,053	22,737,847	63,206
第２号基本金	900,000	900,000	0
第３号基本金	761,473	761,473	0
第４号基本金	395,000	395,000	0
基本金の部合計	24,857,526	24,794,320	63,206
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費収入超過額	2,716,556	2,206,750	509,806
消費収支差額の部合計	2,716,556	2,206,750	509,806
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	28,326,847	27,824,820	502,027

＜千円未満切り捨て＞

平成25年度予算

平成25年度予算は、平成25年3月27日の理事会、評議員会において承認されました。これによると平成25年度の資金収支予算は総額7,443,607（千円）となりました。

〔平成25年度予算概要〕

私学を取り巻く環境は、少子化の影響による就学人口の減少、経済不況、私大経常経費補助金の削減、ゼロ金利政策、社会ニーズの変化等で、私学経営は一段と厳しい状況下に置かれています。また、長引く不況により、世帯収入の減少、私学経営に及ぼす地域人口減など、入学志願者数への影響等、より厳しさを増しております。こうした状況下でも、魅力ある教育の展開、特色ある大学の明確化を進め、改革の手を緩めず邁進していく所存です。

基幹収入である学生生徒納付金収入においては、全学あげて学生・生徒数の確保に努めます。支出については、今年度学園創立60周年を迎えることから、学園創立60周年事業計画に基づき、環境整備を行います。さらに喫緊の課題である学生募集対策費、就職支援に関する経費、広報活動に重点をおいた予算編成とします。

資金収支予算書

収入の部

（単位：千円）

科　目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
学生生徒等納付金収入	1,777,306	1,822,463	△ 45,157
手数料収入	30,262	40,865	△ 10,603
寄付金収入	0	92,600	△ 92,600
補助金収入	634,071	641,892	△ 7,821
資産運用収入	26,343	27,251	△ 908
資産売却収入	0	300,000	△ 300,000
事業収入	181,527	164,765	16,762
雑収入	12,901	113,037	△ 100,136
前受金収入	318,974	258,080	60,894
その他の収入	397,302	333,995	63,307
資金収入調整勘定	△ 297,274	△ 586,819	289,545
前年度繰越支払資金	4,362,195	4,193,851	168,344
資金収入の部合計	**7,443,607**	**7,401,980**	**41,627**

支出の部

（単位：千円）

科目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
人件費支出	1,296,607	1,341,340	△ 44,733
教育研究経費支出	571,574	486,414	85,160
管理経費支出	354,131	319,621	34,510
施設関係支出	38,440	72,500	△ 34,060
設備関係支出	47,389	63,874	△ 16,485
資産運用支出	375,000	431,000	△ 56,000
その他の支出	253,455	406,615	△ 153,160
〔予備費〕	30,000	30,000	0
資金支出調整勘定	△ 59,105	△ 111,579	52,474
次年度繰越支払資金	4,536,116	4,362,195	173,921
資金支出の部合計	**7,443,607**	**7,401,980**	**41,627**

消費収支予算書

（単位：千円）

科　目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
学生生徒等納付金	1,777,306	1,822,463	△ 45,157
手数料	30,262	40,865	△ 10,603
寄付金	500	93,100	△ 92,600
補助金	634,071	641,892	△ 7,821
資産運用収入	26,343	27,251	△ 908
事業収入	181,527	164,765	16,762
雑収入	12,901	113,037	△ 100,136
帰属収入合計	2,662,910	2,903,373	△ 240,463
基本金組入額合計	△ 85,829	△ 135,852	50,023
消費収入の部合計	**2,577,081**	**2,767,521**	**△ 190,440**

（単位：千円）

科　目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
人件費	1,296,607	1,341,340	△ 44,733
教育研究経費	936,723	860,709	76,014
管理経費	355,831	335,331	20,500
資産処分差額	502	502	0
徴収不能額	8,000	8,000	0
〔予備費〕	30,000	30,000	0
消費支出の部合計	**2,627,663**	**2,575,882**	**51,781**
当年度消費収入超過額	△ 50,582	191,639	
当年度消費支出超過額			
前年度繰越消費収入超過額	2,198,266	2,006,627	
翌年度繰越消費収入超過額	2,147,684	2,198,266	
翌年度繰越消費支出超過額			

明桜女子サッカー部　県高校総体優勝

6月1日、八橋運動公園陸上競技場で行われた秋田県高等学校総合体育大会サッカー競技(女子)において、明桜高校女子サッカー部が優勝しました。

明桜高校は1年生中心のチームながら、和洋女子高校戦を7-3で、大館鳳鳴高校戦は11-0と快勝し、創部2年目にして東北大会出場を決めました。

6月15日に由利本荘市で行われた東北大会では、青森代表の千葉学園に敗れましたが、雨の中ひたむきにプレーした選手たちに会場からは惜しみない拍手が送られました。

多くのご声援をいただきありがとうございました。

のびのび幼稚園　サッカーで元気に体を動かそう

のびのび幼稚園の年長組を対象にしたサッカー教室は、今年から明桜高校の葛西諒一先生が教えてくれることになりました。

夏を思わせる日差しの5月28日、ぴかぴか組さんが初めてのサッカー教室に挑戦しました。

はじめに、ドリブルやリフティングをしてみます。ボールをうまくコントロールできなくて、つい手が出てしまいますが、先生から手を使わないで足でやってみようと励まされ、一生懸命ボールを追いかけましたよ。

リフティングはまだまだ難しかったけれど、1回・2回とできる子もいました。

今はできなくても練習していけばこんなこともできるようになるよ、と先生がお手本を見せてくれると「かっこいい！」と歓声があがりました。

最後は先生対ぴかぴか組みんなでゲームをしました。とても暑い日だったので、こまめに水分補給をしながらのサッカー教室でしたが、みんな暑さも忘れて園庭いっぱいに走り回りました。

ハロー！デファルコ先生　のびのび幼稚園英語教室

6月7日、のびのび幼稚園で年長の園児を対象とした英語教室が始まりました。

今年の、のびのび幼稚園の英語は、大学のデファルコ先生が担当します。今年初めての英語教室に園児たちは興味津々です。

先生の「ハロー」のあいさつに元気良く「ハロー」の声をだしました。

先生が自己紹介に続いて、出身国カナダの自然や動物、観光地などを映像で紹介。

また、世界地図を大きく画面に表示し、カナダの場所を当てるクイズ、先生と一緒にカナダの国旗を一緒に描くなど行って楽しく英語に触れました。

さくら幼稚園　泥んこは気持ちいいね　田植えに挑戦

6月7日、さくら幼稚園の年長児ひばり組さんが田植えをしました。

幼稚園バスの運転手さんだった神居さんの田んぼの一画をお借りして、みんなで田植えに挑戦です。一人ひとり苗のかたまりを手にとって、五本ずつの小さい束に分けて植えていきます。最初はおっかなびっくり田んぼの中に入っていきましたが、少したつと「（泥んこは）あったかい」「気持ちいいね」と大喜びです。あめんぼやミミズやかえるなど、田んぼの中にいそうな生き物に出くわさないか心配していた子たちも、田んぼの気持ちよさに怖かったこともすっかり忘れ、どろんこ遊びに夢中になりました。

途中で年中児のはと組さんがお散歩にやってきて、ひばり組さんを応援してくれましたよ。顔まで泥んこになる子もいましたが、田植えが終わったら、神居さんのおうちのお風呂をお借りしてみんなきれいになりました。

この日みんなが植えた苗は、秋になったら稲刈りをして、おにぎりパーティーをします。いつもみんなが食べているお米は、農家の人たちがこんな風にして育てているのですね。秋になるのがとても楽しみなつばめ組さんでした。

季節を感じる楽しいお散歩

学園内は自然がいっぱいで季節ごとにいろいろな顔を見せてくれます。

初夏の陽気が感じられるようになってきた5月下旬、さくら幼稚園のはと組さんがお散歩にでかけました。
さくら幼稚園では、幼稚園の後ろに広がる学園の敷地でよくお散歩をします。外はおひさまが照りつけていますが、園児たちはお友達と手をつないで木陰を歩いていきます。

この日は、藤の花やつつじ、たんぽぽや綿毛などがあちこちで咲いていました。途中で先生が、たたいてつぶすといいにおいのする葉っぱを教えてくれましたよ。舗装されていないお散歩道を、鳥の声を聞きながら上り下りして、途中の東屋で休憩です。ベンチに座ってひと休みする子、蕗や笹の葉をつむ子、虫が歩いていく様子を観察する子、思い思いに休憩時間を過ごしたら、園に向かって歩いていきます。つばめ組さんが植えたジャガイモ畑が見えてきたらそこはもうさくら幼稚園です。

みんなでいろいろなものを見て触れて、刻々と変わって行く学園の季節を楽しみました。

さくら SAKURA No.235
平成25年8月30日 編集・発行 理事長総室 〒010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1 Tel. 018-836-6527 Fax. 018-836-3321 URL. http://www.northasia.jp/

大学生活を体験しよう ▶ オープンキャンパス開催

ノースアジア大学・秋田看護福祉大学・秋田栄養短期大学のオープンキャンパスを下記の通り開催します。各学科の教育内容や勉強・進路への支援、学生生活、入試情報等を高校生と保護者、先生へご説明いたします。各大学ともに、たくさんの方々にご参加いただき、大盛況のうちに終了した日程もありますが、複数回の参加も可能ですので、この後の日程についても、お友達やご家族をお誘いの上、お気軽にご参加ください。なお、詳細は各大学のホームページをご参照ください。

■ノースアジア大学・秋田栄養短期大学

10月5日(土)、平成26年3月16日(日)
【※7月27日（土）、8月24日(土)実施済】
ノースアジア大学
http://www.nau.ac.jp/class/02.html
秋田栄養短期大学
http://www.akita-eiyo.ac.jp/class/02.html

■秋田看護福祉大学

9月7日(土)、平成26年3月21日(金)
【※7月6日(土)、8月3日(土)、8月6日(火) 実施済】
http://www.well.ac.jp/exam/opencampus.html

オープンキャンパス、進学相談会等に関する お申し込み・お問い合わせは

ノースアジア大学・秋田栄養短期大学　入試広報課
TEL 018-836-1342　E-mail nyushi@nau.ac.jp
秋田看護福祉大学　学務課入試係
TEL 0186-43-6510　E-mail nyushi@well.ac.jp

伊藤護朗氏に名誉教授の称号を授与

ノースアジア大学では 13 人目

伊藤護朗名誉教授「このたびは身に余るご高配をいただきました。44年の長きに渡り、勤めてこられたのも理事長をはじめ教職員の皆さまのご指導、ご支援があってこそと感謝しております。今後も及ばずながら本学の発展に寄与してまいりたいと考えております」

伊藤護朗氏 略歴等	ノースアジア大学法学部長、学生部長を歴任。平成8年ノースアジア大学教授就任。